



図1 郷土資料室内に展示している「アキシマクジラ共産化石」

# 鯨

いさな

## 第16号

昭島市郷土資料室  
 〒196-0012  
 昭島市つじが丘  
 3丁目3番15号  
 アキシマエンシス  
 国際交流教養文化棟1階  
 TEL:042-543-1523  
 FAX:042-542-8002  
 (昭島市民図書館共通)

### アキシマクジラといっしょに みつけた化石たち！



一九六一年(昭和三十六年)八月二十日、多摩川河川敷JR八高線多摩川鉄橋の近くでアキシマクジラの化石とともに貝の化石やサメの歯化石などが発見されました。同じ場所から一緒にみつかった化石は、共産化石と呼ばれ、これらの化石は、地層が堆積した当時の環境を知る示相化石や、地層が堆積した時代を知る示準化石として、アキシマクジラが生息していた当時の昭島を知る手がかりになります。

アキシマクジラは、恐竜化石の発掘のように、研究者や学芸員が発掘する前にあらかじめ計画を立て、一年以上の長い時間がかかる大がかりな調査によってではなく、地元の人々が中心となって、わずか一週間て発掘された化石です。

アキシマクジラの発掘作業が急いですすめられた背景には、大雨による多摩川の増水で発掘場所が川底に沈む前に、多くの骨の化石を掘り出さなければならぬ切迫した状況がありました。

発見された当時の発掘現場は、地元の方々やメディアの方々が行き交い、非常に慌ただしかったようです。そのため、発見後に行方がわからなくなってしまった化石もあったと言われています。

アキシマエンシスが開館して以降、発見・発掘の関係者や市民の方より、個々に採取して保管していた化石を寄贈いただきました。寄贈いただいた化石は昭島市郷土資料室入口近くに展示されています(図1)。

「アキシマクジラ共産化石」の展示は、アキシマクジラ発見当時の出来事の概要が書かれた「アキシマクジラ物語」(現在絶版)掲載の写真(図2)を再現しています。

展示を通して当時の様子を想像してみるとおもしろいかも知れません。



図2 一緒に発見された貝の化石やサメの歯の化石など。写真の右下に大きさを比べるため、たばこの箱(ピース)があります。

令和七年 一月～三月のおもな展示・イベント予定

◎企画展示 「写真展 青梅線130年 in 昭島」

展示期間：令和六年十月一日（火）～令和七年一月二十六日（日）  
展示内容：青梅鉄道に関する写真を展示します。

◎企画展示 「上川原町日枝神社祭礼展示」

展示期間：令和七年二月四日（火）～令和七年四月二十七日（日）  
展示内容：日枝神社の祭礼時に使用される道具を中心に展示します。

◎岩手県岩泉町とのコラボ展示を開催しています

展示期間：令和六年十一月六日（水）～令和七年一月二十六日（日）  
開催場所：アキシマエンス国際交流教養文化棟一階 企画展示棚J  
展示内容：昭島市と岩手県岩泉町の友好都市締結十周年を記念して、両市町内でみつけた「アキシマクジラ」と「モシリユウ」の化石についての解説パネルを展示しています。



昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、アキシマエンスのホームページ（<https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage/list.html>）またはアキシマエンス公式X (@akishima\_ensis) へ見るのができます。

ホームページはこちら



Xはこちら



利用案内

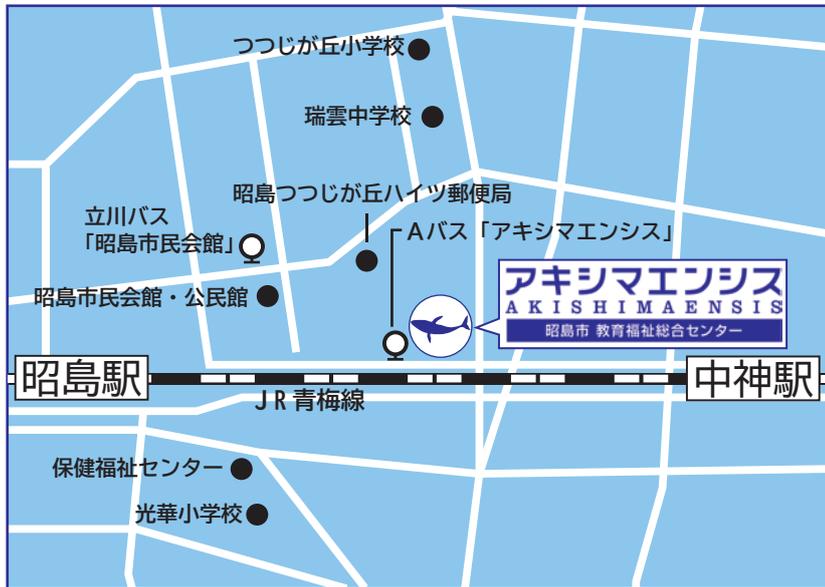
○開室時間

昭島市郷土資料室  
火曜日～金曜日 午前10時～午後八時  
土・日・祝日 午前10時～午後六時

○休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間

郷土資料展示室 火曜日～日曜日・祝日 午前10時～午後五時  
（見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください）



○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩 10分

立川バス（昭22、昭23、昭23-2・昭24、昭26、拝13）  
「昭島市民会館」下車徒歩 5分

Aバス（北ルート）「アキシマエンス」下車すぐ